

駅総合遠隔監視システム

駅ホームでのホーム端部の歩行や転落など触車危険の検出・通知をはじめ、
混雑状況の把握、障がい者支援など、駅構内のあらゆる「見守りの省力化」を実現。

駅遠隔総合監視システムの全体構想

ホーム端歩行検知

- カメラ映像で監視
- 人の位置を判定、状態を検知し通知

転落検知

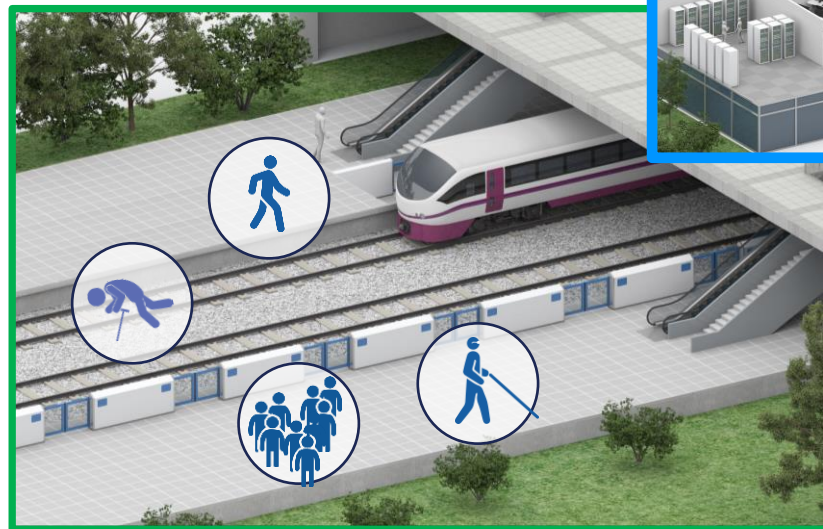
- カメラ映像で監視
- 人の位置を判定、状態を検知し通知

障がい者検知

- カメラ映像で監視
- 白杖・車椅子・盲導犬から障がい者を検知し通知

混雑・転倒・滞留検知

- カメラ映像で監視
- 人の動作、状況から各状態を検知し通知



遠隔監視

- 各機器状態を通知・確認
- Webブラウザで閲覧可
- 接続機器の制限が少ない

遠隔操作・復旧

- ホームドア等機器を遠隔操作
- 駅業務の効率化が可能
(復旧操作含む)

遠隔案内

- インターホン・スピーカ等にアクセス
- 遠隔から音声案内が可能

駅総合遠隔監視システム

各機器の検知状態、可動状況を情報集約PC(サーバ)経由であらゆる場所への通知、確認を実現。

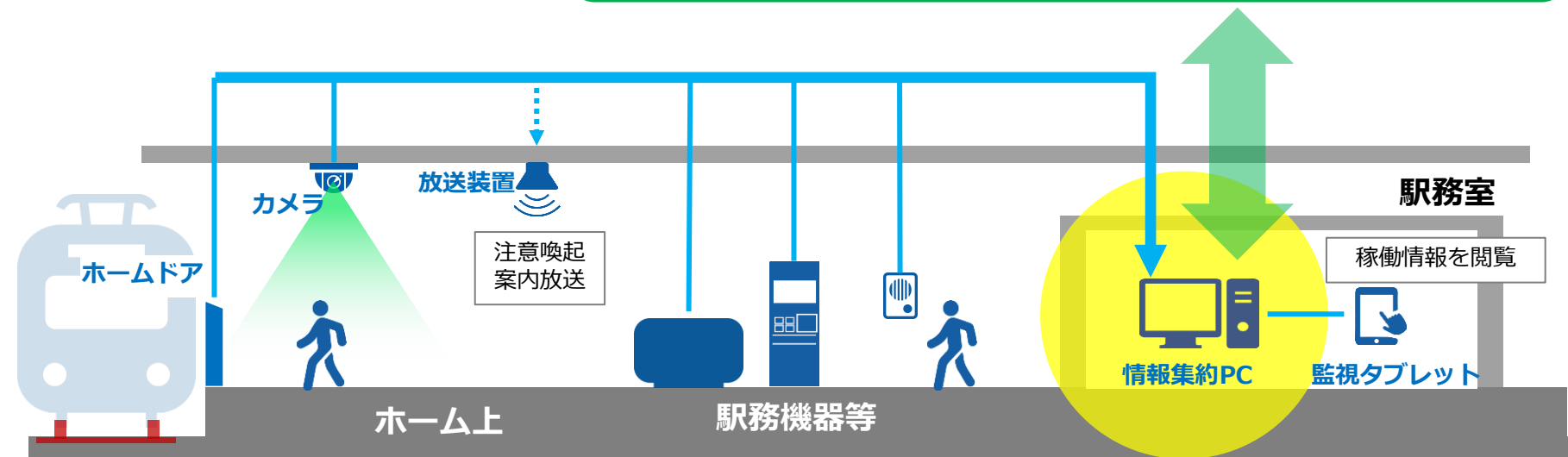
遠隔拠点

指令所・保守拠点等



タブレット
スマートフォン

駅設備のメンテナンス状況を
システムで一元管理



画像解析ホーム監視システム

ホーム端の歩行など、ホームにおける事故発生要因を検知し、
速やかに駅係員様の監視タブレットに通知し、見回り業務の削減とホームの異常を早期発見。



現状の運用



ホーム立哨
見回り監視



監視カメラ
常時確認

- ①監視タブレットに通知
- ②タブレットからの対応



メリット

見回り業務の削減

旅客転落時の早期発見

昇降式ロープ柵

無線式ホームドア連携システムと組み合わせて、
超大開口を最大限有効活用した双方向通信の列車連携を実現。



※本製品は、西日本旅客鉄道株式会社様、株式会社JR西日本テクシア様、
日本信号株式会社の共同開発品です。

開発ポイント

混在停車対応

- 強じん軽量なカーボンロープ
- 超大開口で4・3ドア等に対応

手動停止駅対応

- ± 1 m以上の列車停止位置誤差を許容

メリット

既存車両で運用可能

格納時の目視良好

補強小で費用低減